

健康のまど



②

◆世界一の長寿国に
先月号でも述べたように、日本人の平均寿命は男七十三・五歳、女七十八・九歳と北欧をぬき男は第一位、女は第二位と、今や日本は世界一の長寿国となりました。一長寿国となった要因はいろいろと言われているが、おもしろいのが、おもしろいのが考えられます。

◆医療機関の最多国である
きでできるような
に願わぬ人
はあきません。
「すこやかに老いるために」
◆あたたかな健康問題が
人間が生まれ育ち、老いるまでは年代的に生活環境や食生活の面でいろいろと変化してきます。現在の高齢者は明治・大正・昭和と生

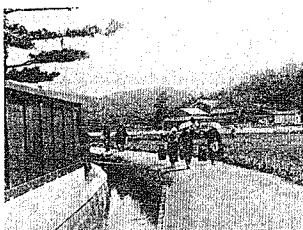
は、この時代を過ごされた人たちが構成されているわけですが、現在と比べて良質の医療などのなかった時代でしたから、病気ににかかっている人が多いのは無理のないことかもしれません。一方、戦後以後は一時の

不足が生じることが予測されるところとでした。こうした切迫している水需要に対応するためには、なんといつても施設の拡張が必要です。さる十二月市議会では、第六次拡張事業基本計画についての議決がなされ、五十六年度から六十六年度の工期で拡張事業を進めることになりました。第六次拡張事業の計画概要は次のとおりです。

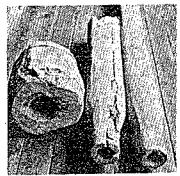
◆計画給水人口：七万七千人（六万七千人）
◆計画一日最大給水量：四万五千㎡（三万六千㎡）
◆計画一日平均給水量：二万九千二百六十㎡（二万八千㎡）
◆計画一人一日最大給水量：六百二十五ℓ（五百四十ℓ）
◆計画一人一日平均給水量：四百六ℓ
◆水利使用許可申請：四万五千五百ℓ（約三十一億五千万ℓ）
◆総事業費：約三十一億円（約三十一億五千万円）
※（一）内は第五次拡張事業との比較

◆計画給水人口：七万七千人（六万七千人）
◆計画一日最大給水量：四万五千㎡（三万六千㎡）
◆計画一日平均給水量：二万九千二百六十㎡（二万八千㎡）
◆計画一人一日最大給水量：六百二十五ℓ（五百四十ℓ）
◆計画一人一日平均給水量：四百六ℓ
◆水利使用許可申請：四万五千五百ℓ（約三十一億五千万ℓ）
◆総事業費：約三十一億円（約三十一億五千万円）
※（一）内は第五次拡張事業との比較

お買物、ご用命は市内で
VIDEOとSOUNDの専門店
ソニー長時間ビデオ
ベータマックス J1 ¥198,000
ソニーショップ
オーディオまるよし
新津市本町1丁目駅前角 電話21898



今の本町地内に行く幸清水の水売り女衆（大正末期）



本町4で見つかった明治時代の水道管

水道以前の「水道」

水道ができるまでは井戸水などに頼っていました。当時、水売り女衆といって清水を売って歩く人もいました。写真上、また、市内から水をはくのに使ったと思われる「水道管」が発見され、当時の人たちの知恵をしのばせます。（左）

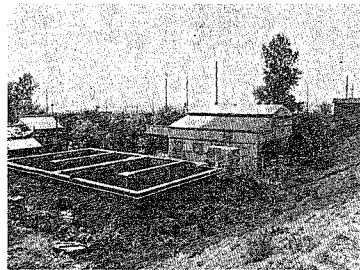
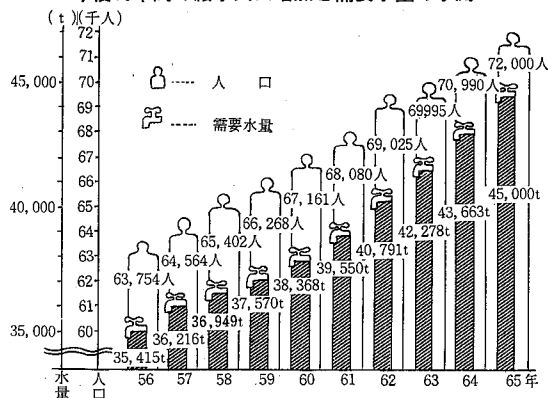
う事業主体（水道局など）に指導がなされています。当市では、これらのことを十分考慮し、昭和五十二年に専門家に「人口及び水需要調査」を依頼しました。この結果、近年における都市化現象や生活様式の向上などによる水需要量の増加はめざましく、十年後の昭和六十五年の人口が七万七千人、一日最大給水量四万五千㎡と推定され、二年後の五十七年度では、一日最大ベースで約二百㎡、昭和六十五年には九千㎡の水

不足が生じることが予測されるところとでした。こうした切迫している水需要に対応するためには、なんといつても施設の拡張が必要です。さる十二月市議会では、第六次拡張事業基本計画についての議決がなされ、五十六年度から六十六年度の工期で拡張事業を進めることになりました。第六次拡張事業の計画概要は次のとおりです。

◆計画給水人口：七万七千人（六万七千人）
◆計画一日最大給水量：四万五千㎡（三万六千㎡）
◆計画一日平均給水量：二万九千二百六十㎡（二万八千㎡）
◆計画一人一日最大給水量：六百二十五ℓ（五百四十ℓ）
◆計画一人一日平均給水量：四百六ℓ
◆水利使用許可申請：四万五千五百ℓ（約三十一億五千万ℓ）
◆総事業費：約三十一億円（約三十一億五千万円）
※（一）内は第五次拡張事業との比較

お買物、ご用命は市内で
花に託して心を贈る
慶弔用贈花・供花の御用命は
新町一丁目 小林生花店
TEL(2)-1080(2)-5707(各流派いけばな教室案内)

今後10年間の給水人口増加と需要水量の予測

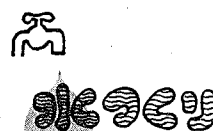


新津市の水道事業は、昭和7年から、写真の中新田浄水場が始まりました。（今は使われていません）

水の将来へ―第六次拡張事業に着手
来年度から―
増え続ける水需要に対応し、これまで五回にわたる拡張事業にとりかかっていたのは、このたびは、五十六年度から六十六年度の工期で拡張事業を進めることになりました。第六次拡張事業の計画概要は次のとおりです。

◆計画給水人口：七万七千人（六万七千人）
◆計画一日最大給水量：四万五千㎡（三万六千㎡）
◆計画一日平均給水量：二万九千二百六十㎡（二万八千㎡）
◆計画一人一日最大給水量：六百二十五ℓ（五百四十ℓ）
◆計画一人一日平均給水量：四百六ℓ
◆水利使用許可申請：四万五千五百ℓ（約三十一億五千万ℓ）
◆総事業費：約三十一億円（約三十一億五千万円）
※（一）内は第五次拡張事業との比較

お買物、ご用命は市内で
＜新製品＞
ザンス・ノアール
500円・1,200円
2,200円・3,200円



を考える…⑥

―せまられる「需要増」への対応―

新津市に水道事業が始まってから今年で四十八年目。今号では、当市の水道事業のおおまかな「歴史」と、新年度から着手する「第六次拡張事業」の必要性和概要などについてお知らせします。

水道の発祥は中新田から

た。阿賀野川（左岸）の表流水を水源として、この年に中新田浄水場が完成し、市街地区中心に給水を開始しました。その後、創設以来二十年あまりの間に、人口と給水量が増加したため、減・断水が生じたほか、市街地周辺地域から受水に対する強い要望があり、これが対処できるだけの拡張が中新田浄水場だけでは不可能になりました。

新津市の水道のおもな歩み

昭和7年…新津市浄水場が中新田地内に竣工、供給を開始。総事業費は28万6千円でした。
25年…上水道第一次拡張事業に着手、新しい浄水場の建設を満願寺地内に始める。
32年…第二次拡張事業に着手。
36年…第三次拡張事業に着手。
38年…新津市水道課、水道局となる。この年から第四次拡張事業に着手。
42年…第五次拡張事業に着手。
44年…秋葉山に配水タンクが完成、金津・小合・新関・高台地区に通水を開始。これまでの減・断水解消される。
55年…第五次拡張事業計画が完了する。給水人口は6万2千人、一日最大給水量は3万6千㎡。
※56年から…第六次拡張事業計画に着手します。給水人口は7万2千人、一日最大給水量は、4万5千㎡の計画です。

お買物、ご用命は市内で

にいつオーサカヤは新しい感覚の素適なおかしを作りました。パリッとするサプレーに甘いレーズンクリームをサンドしました。
オーサカヤ 本町2 TEL2-0112

